＜BL-80RⅡ/RSⅡとSD1-31P/S/Uの相違点＞

＜一般仕様＞

	BL-80RⅡ/RSⅡ（生産中止品）	SD1-31S/P/U（後継機種）
用紙装填方法	オートローディング（インサート機構）	ペーパードロップイン機構
印字スピード	47.5mm/sec.	Max.60 mm/sec　*注1
USB	対応なし	ＵＳＢV2.0 搭載モデルを用意
ボーレート範囲	4800, 9600, 19200 or 38400bps	1200～115200bps
文字種類	ANK、JIS 第一・第二水準漢字	ANK、JIS 第一・第二水準漢字 PC-437/850/852/857/858/863/865/866/WPC1252
文字書体	ゴシック体、明朝体　の選択式	ゴシック体のみ
バーコード	JAN(EAN)13/8、CODE39、ITF CODABAR、CODE128	JAN(EAN)13/8、CODE39、ITF、CODABAR、 CODE128、UPC-A/E
2 次元コード	対応なし	オプションで対応可能
バッテリー駆動	オプション品で対応可能	対応なし
バッテリーパック	UR-121（1700mAh）	使用不可
AC アダプター	BL-100W/AC-100J	BS-110WJ　（国内向け AC ケーブルセット品） ※BL-100W は使用不可（極性が違う為故障する可能性あり）
消費電流	平均 3.0A　（最大 3.5A）	平均 1.7A　（最大 3.8A）
環境条件	動作温度範囲　0°C～+40°C 動作湿度範囲　20%RH～80%RH 保存温度範囲　-10°C～+60°C 保存湿度範囲　10%RH～95%RH	動作温度範囲　-10°C～+50°C 動作湿度範囲　20%RH～85%RH 保存温度範囲　-20°C～+60°C 保存湿度範囲　10%RH～90%RH
コマンド体系	オリジナル	ESC/POS 準拠（MODE A） BL-80 互換（MODE B）：一部コマンドの動作が違います 詳細は別紙を参照下さい
同梱品	サンプルロール紙 1 巻・取扱説明書	サンプルロール紙 1 巻・取扱説明書
感熱紙	BL-80-30	BL-80-30　（変更なし）
通信ケーブル	―	BL-80RⅡ/RSⅡと同じものを使用可能
電池蓋	―	取り外し出来るがバッテリーには未対応
バックフィード	対応	非対応
その他	マーク位置検出可能	マーク位置検出非対応
動作機能設定モード	FEED　ボタンを押しながら電源投入 →SELECT、FEED ボタンで設定	FEED ボタンを押しながら電源投入 →FEED ボタンのみで設定
LED	PAPER END LED / SELECT LED	POWER LED/ ERROR LED ※エラー時の出力パターンは別途技術マニュアルで確認下さい
寿命	耐パルス性：5000 万パルス以上 耐摩耗性：　30Km 以上	耐パルス性：1 億パルス以上 耐摩耗性：　50Km 以上
外形寸法	119(W)　×174(D)×77(H)mm	134(W)×180(D)×60(H)mm
質量（本体のみ）	約 500g	約 450g

＊ 注 1：DC7.5V，印字率 12.5%以下の場合。

BL-80／SD1-31 コマンド相違点

1．コマンドエミュレーションについて

SD1-31 のコマンドエミュレーションは、ESC/POS 準拠(MODE A)と BL-80 互換(MODE B)の
2 種類搭載されており、選択して使用します。
コマンドエミュレーションの選択は、機能設定モードまたは DC2 K コマンドにて行ないます。
工場出荷状態では BL-80 互換(MODE B)に設定されています。
詳細は、別冊『コマンドリファレンス』を参照ください。

2．BL-80 互換による注意事項

SD1-31 の MODE-B エミュレーションは、BL-80 シリーズとの互換性を最大限考慮されたコマンド
エミュレーションになりますが、幾つかのスペック上の相違から 下記に示す動作において仕様が
異なります。

①SD1-31はバックフィード構造を持たないため、ESC j (印字後逆方向紙送り) コマンドは機能しません。

②SD1-31は自己電源遮断モードの構造を持たないため、DC2 y (オートパワーオフ)
DC2 x (パワーオフ) コマンドは機能しません。

③SD1-31は推奨ACアダプタ(BS-110WJ)に合わせた印字動作モードを設定しています。
従来バッテリー電源で必要とされたユーザーの設定、DC2 > (固定分割選択) , DC2 % (動的分割
ドット数指定) , DC2 / (動的分割温度・ドット数指定) コマンドは機能しません。

④SD1-31は厚紙に相当する用紙をサポートしていないため、DC2 ! (複写紙印字選択) コマンドの
2重印字モードは機能しません。
ただし、DC2 !コマンドのマクロ操作は機能します。

⑤SD1-31はブラックマーク紙をサポートしていないため、紙無しセンサーは用紙切れ検知の単機能
として動作します (マーク位置検出は出来ません) 。
そのため、DC2 p (紙無しエラー選択) , DC2 m (マーク位置検出) コマンドは機能しません。

⑥SD1-31では文字書体は1つの書体に統一しているため、ESC t (内部文字セット選択) コマンドの
パラメータの仕様が異なります。

⑦DC2 ～ (印字濃度設定) コマンドにて、BL-80では印字濃度を 0～255の範囲で設定させたが、
SD1-31 では 50～200 の設定に丸め込みます。